

ハーモザイム

トマト①

北海道（2016年）

試験場所：北海道富良野市

品種名：麗夏

処理：

100ml/10aあたりに100mlを点滴灌注処理

1週間おきに計5回

処理期間：6月26日～7月26日

栽培環境：

成り疲れ、高温障害時期

播種

定植

収穫期

6/26

7/26

散布（5回）

試験結果

ハーモザイム連続灌注による生育状況調査



- 明確に草丈の差が現れている。



- ハーモザイム処理により、茎の径が太くしっかりとっている。葉の張りも良好。



- ハーモザイム処理により、根の張りが非常に旺盛であった。特に根毛の量が多く、吸水や栄養分の吸収に好影響を与えたと推測できる。7月の猛暑にも地上部は瑞々しさを失わなかった。

ハーモザイム

トマト②

青森県（2015年）

試験場所：青森県五所川原市
 品種名：桃太郎エイト
 （台木 グリーンフォース）

栽培環境：

播種

定植

収穫期

処理：

6段花房開花（6/29）から7～10日おきに9月下旬
 まで合計12回葉面散布 1000倍希釈 75～90L/10a

6/29（散布開始） 9月下旬

散布（合計12回）

調査

試験結果

●栽培環境

生産者のコメント：

トマトの開花、着果に関して1段～7段は順調に推移した。7段以降の成り疲れ、天候不順により8段～10段での花飛びが目立った。

●栽培体系

夏秋栽培

側枝2本仕立てのUターン栽培

8段以降は側枝にも着果

694株/10a

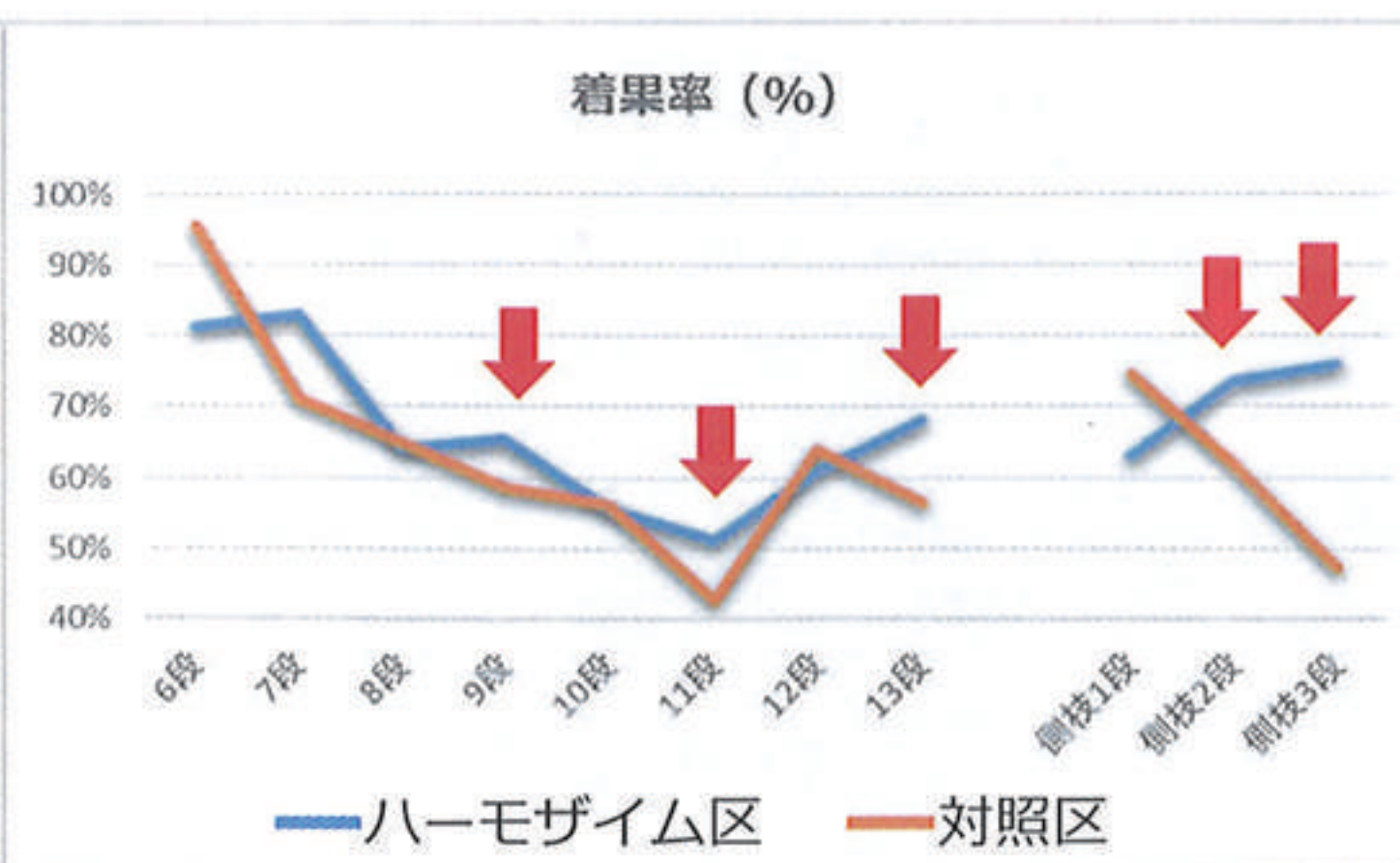
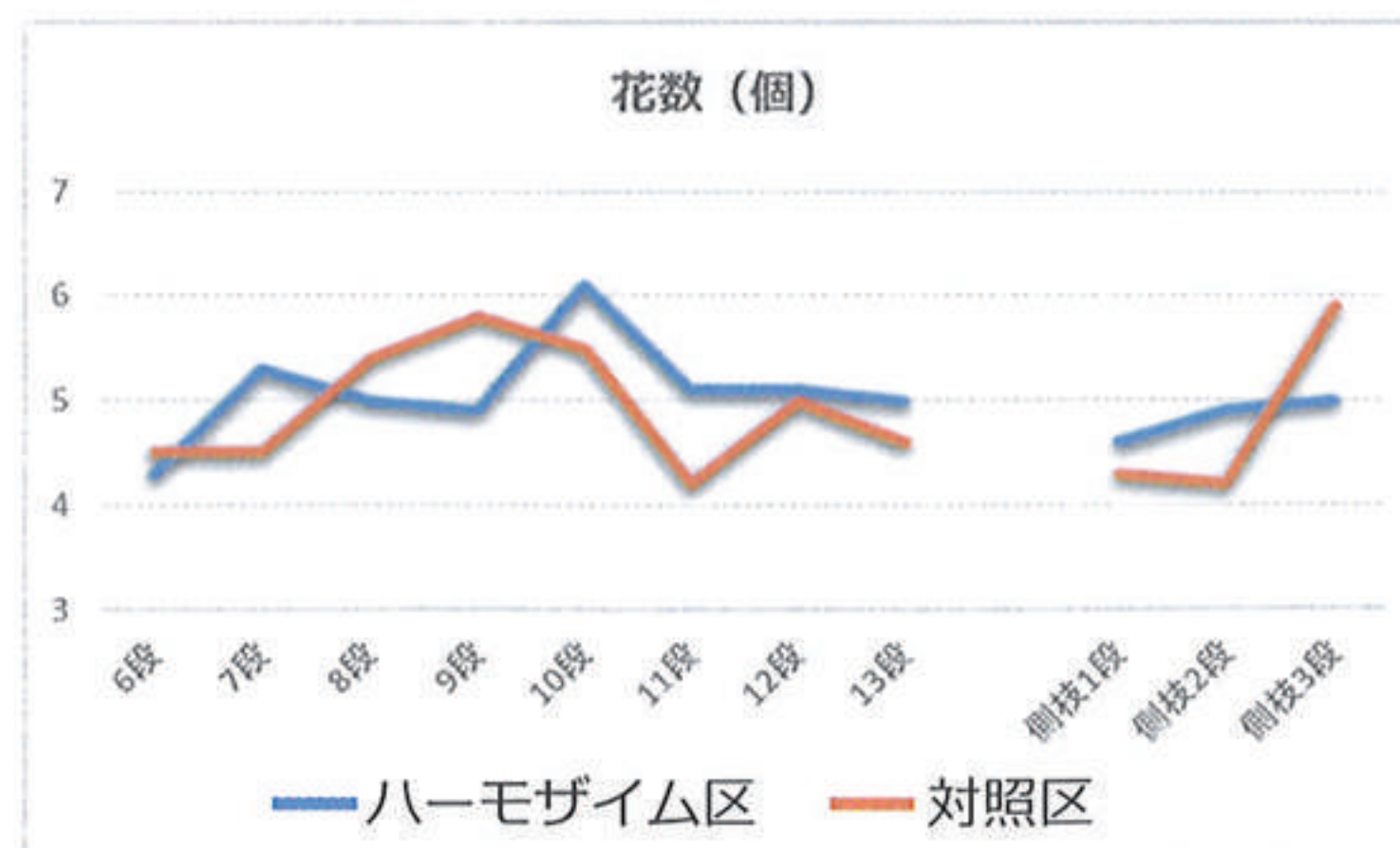


●側枝2本仕立て



●8段以降のUターン仕立て

●ハーモザイム連続散布による生育状況調査



●対照区には他社葉面散布剤を使用

↓成り疲れ、天候不順により対照区の着果率が低下した花房

- 花数については処理による差は認められなかった
- 無処理区の着果率は、隔段で着果不良がおきている（9、11、13段）
- ハーモザイム散布により、着果率の低下が軽減され、栽培期間を通じて安定した着果率を維持することができた

ハーモザイム

トマト③

青森県（2016年）

試験場所：青森県北津軽郡中泊町

品種名：桃太郎エイト

（台木 グリーンフォース）

処理：5/24～9/1まで合計14回葉面散布
およそ1週間に1回の散布

希釈倍数：1000倍

栽培環境：

播種

定植

収穫期（6/29～）

5/24（散布開始）

～9/1

散布（合計14回）

試験結果

●散布方法

農薬混用時 120L/10a（全茎葉散布）

単用時 40L/10a（生長点、花、果実に対して
集中散布）

●栽培体系

夏秋栽培

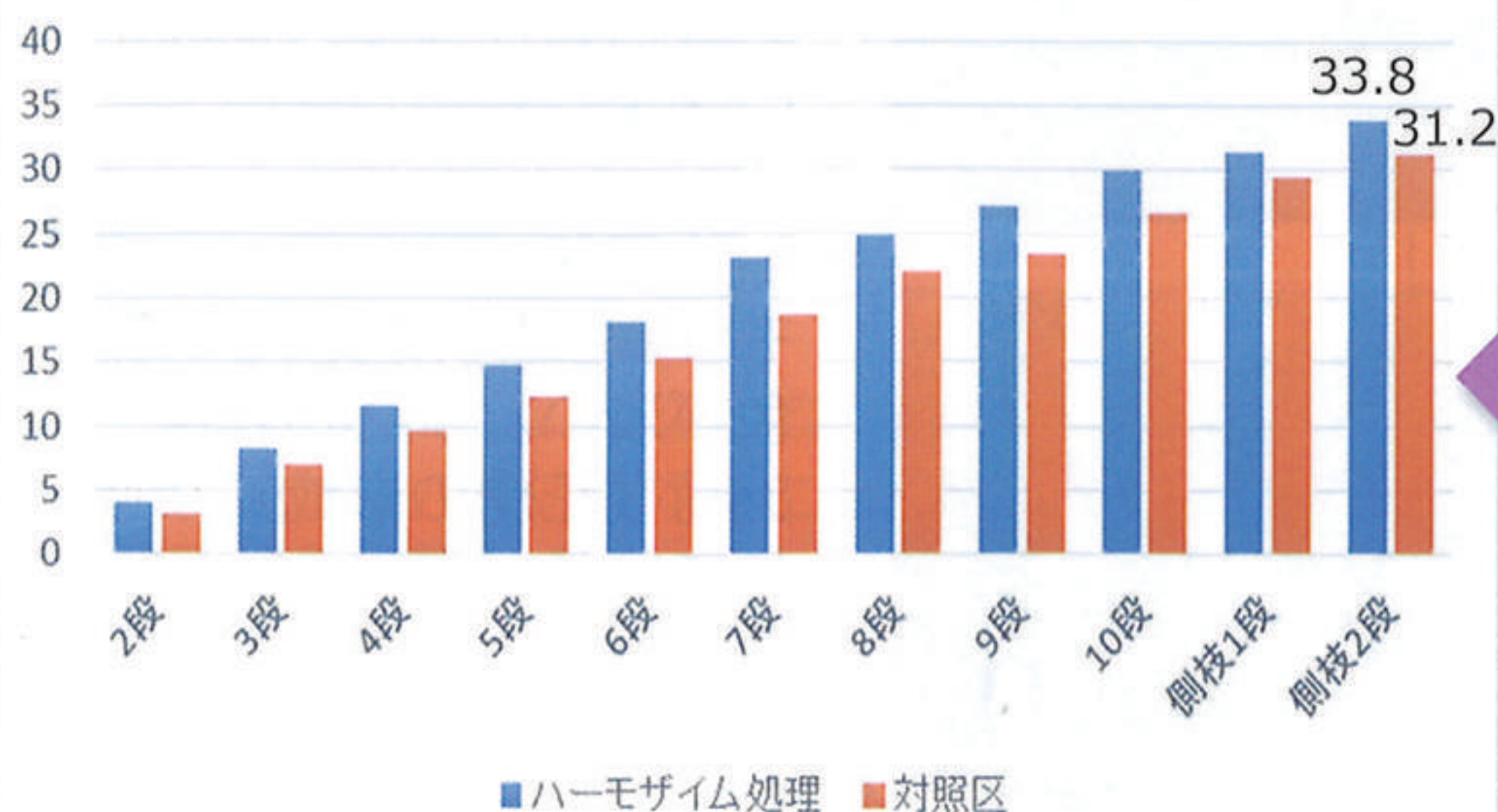
主枝吊り下げ栽培

主枝は14段まで収穫、8段以降に側枝を伸ば
して4段まで収穫

1800株/10a

●ハーモザイム連続散布による着果数の変化

花房段ごとの平均着果数（1株あたり累計個数）



●栽培環境

生産者のコメント：

7月中旬からの高温の影響で、両区とも落花
が見られた

ハーモザイム施用区

高温の影響で、両区とも
11段～12段で落花が
目立った

生産者のコメント：

- ハーモザイムの処理により、量が取れたという印象が強い
- 1株当たり2.6個の差は、10a換算すると約4,700個の収量差になる
- 特に微量要素欠乏を伴う成り疲れに効果的な印象がある

ハーモザイム

トマト④

北海道（2017年）

試験場所：北海道夕張郡栗山町

品種名：麗夏

処理：チューブ灌水装置で土壌灌注

6月初旬～9月下旬まで2～3週間毎

1000倍区：100ml/水100L/ハウス

500倍区：200ml/水100L/ハウス

約800株/ハウス（7.2m x 65m：468㎡）

栽培環境：

定植

4/30

栽培・収穫期

6月初旬

9月下旬

灌注（2～3週間毎）

試験結果

7月18日（定植後80日）

8月18日（定植後110日）

1000倍区



500倍区



無施用区



● 灌水装置

- 1000倍区ハウス、500倍ハウスとも無施用区より旺盛な生育
- 特にハーモザイム500倍区は樹勢が強く、他のハウスより葉色が濃い
- 無施用区ハウスではハーモザイム施用区より、葉色が薄い。3～5日程度、出荷（花房の形成）が遅れている



事例紹介

ハーモザイム

トマト⑤

大分県（2016年）

試験場所：大分県竹田市久住町

品種名：みそら

処理：1000倍希釈 5L/20株に散布

処理回数：3回

（2016年8月11日、18日、9月1日）

栽培環境：

定植

5/16

収穫期

8/11 8/18 9/1

散布（3回）

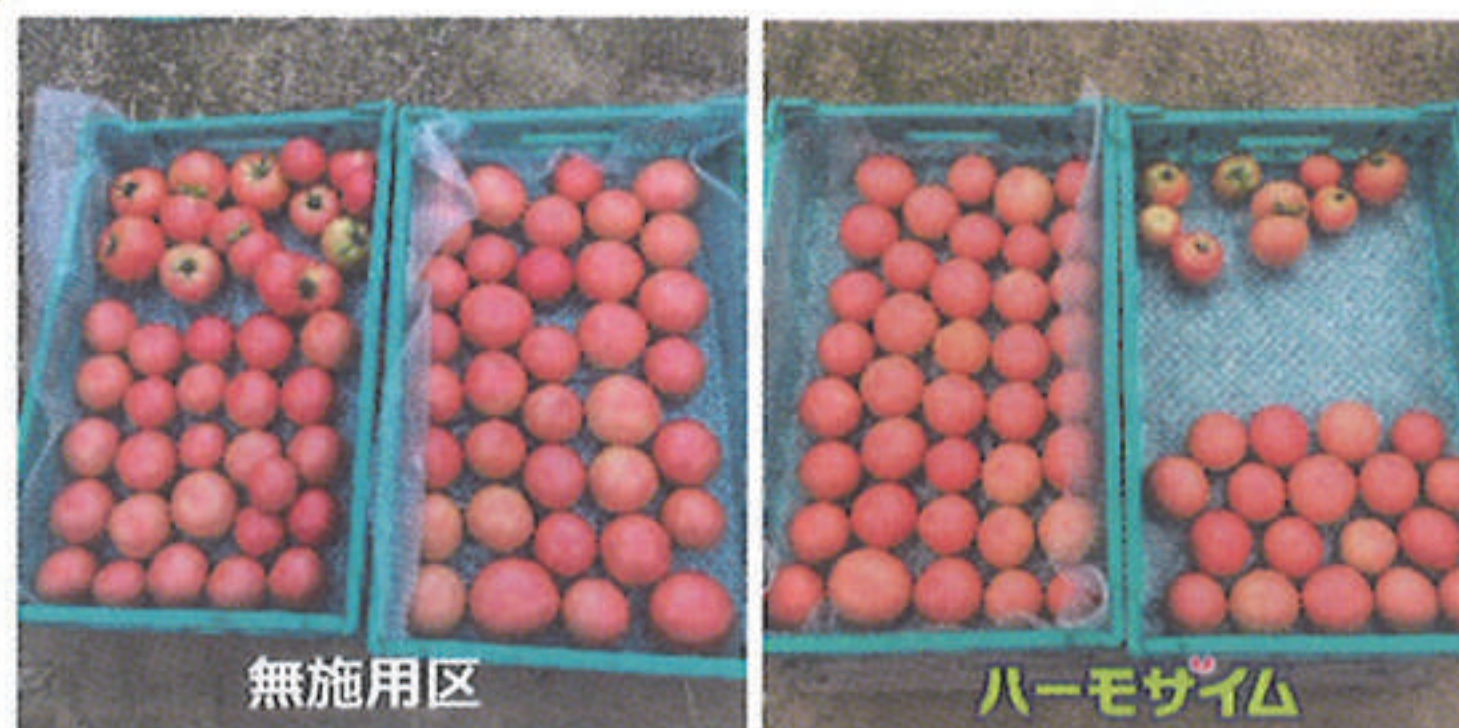
試験結果

●ハーモザイム散布によるトマトの出荷状況



8月20日収穫

秀品ベースでの比較。施用区の方が形が良く、割れが少ない



9月3日収穫

施用区は巨大果、乱形果が少ない

定植
(5/16)

1回目散布
(8/11)

2回目散布
(8/18)

3回目散布
(9/1)

ハーモザイム

ハーモザイム

ハーモザイム



8月24日収穫

この日は秀品ベースで、施用区は無施用区の2倍出荷できました



9月5日収穫

ハーモザイム施用区のトマトの方が形が整っていてキズの少ない良果です

- ハーモザイムを処理することによって、全体的にトマトの形が良く、サイズも均一化する傾向が認められた
- 裂果、巨大果、乱形果が少なくなった
- 秀品率が向上した結果、出荷数ベースで増収することができた
- 擦れなどによる傷が少なくなった印象がある